

# 2020年度 第3四半期 決算説明会 資料

**ファナック株式会社**

---

本資料に含まれている見直しには、主要市場における製品の需給動向、競合状況、経済情勢その他に不透明な面があり、実際と異なる可能性があることをご承知おき願います。

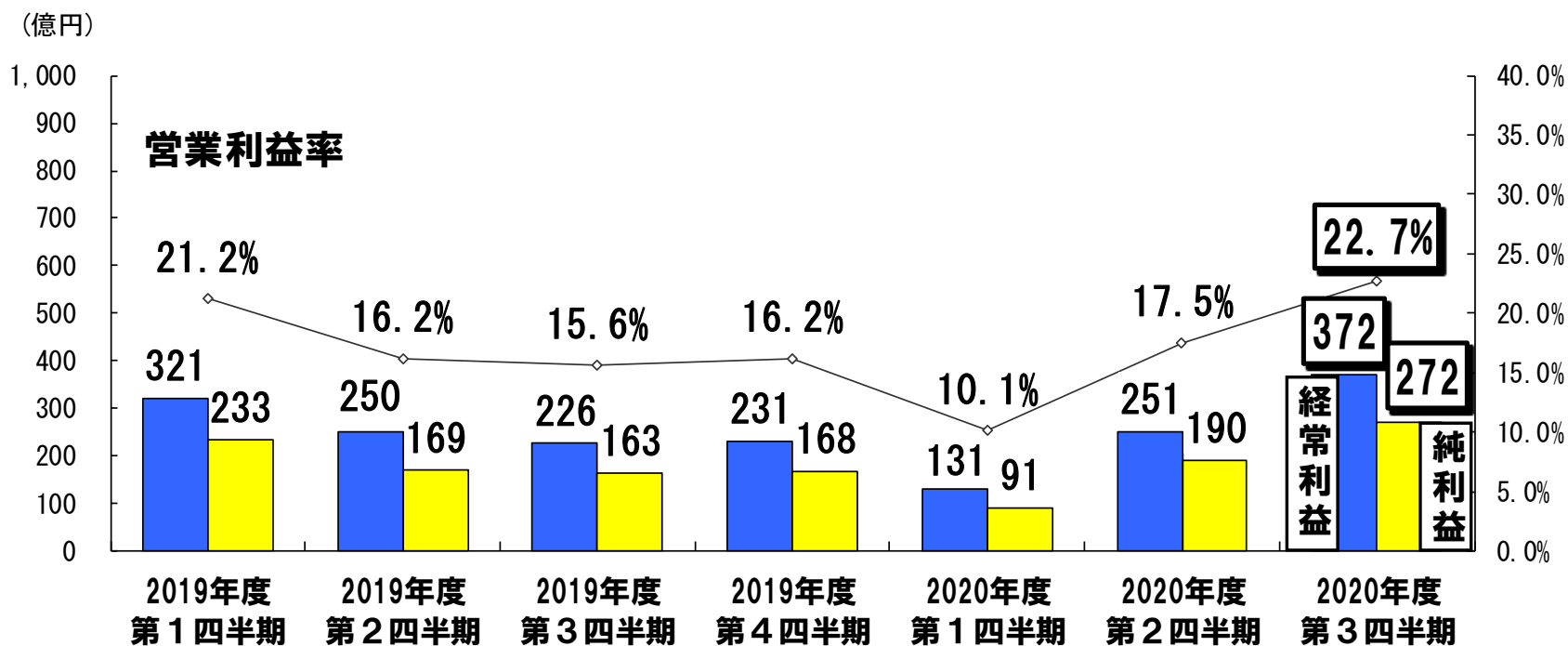
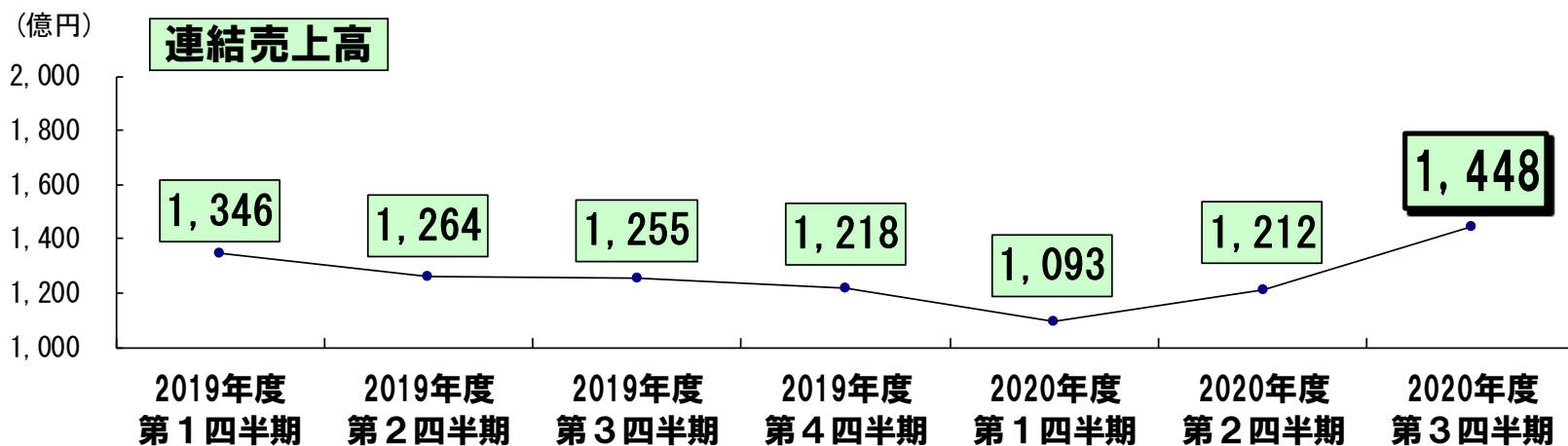
# 2020年度 第3四半期累計(9ヶ月) 連結実績

(単位：億円)	2019年度 第3四半期累計 (4～12月)	2020年度 第3四半期累計 (4～12月)	増減率 前年同期比
<b>売上高</b>	3,865	<b>3,752</b>	-2.9%
<b>売上原価</b> 【売上原価率】	2,469 63.9%	<b>2,452</b> 65.4%	-0.7%
<b>営業利益</b> 【営業利益率】	686 17.8%	<b>653</b> 17.4%	-4.9%
<b>経常利益</b> 【経常利益率】	797 20.6%	<b>754</b> 20.1%	-5.4%
<b>特別損益</b>	-20	-	-
<b>純利益</b> 【純利益率】	565 14.6%	<b>553</b> 14.7%	-2.1%
為替レート			
円/1USD	108.67	<b>106.11</b>	-2.4%
円/1EUR	121.05	<b>122.38</b>	+1.1%

# 2020年度 第3四半期(3ヶ月) 連結実績

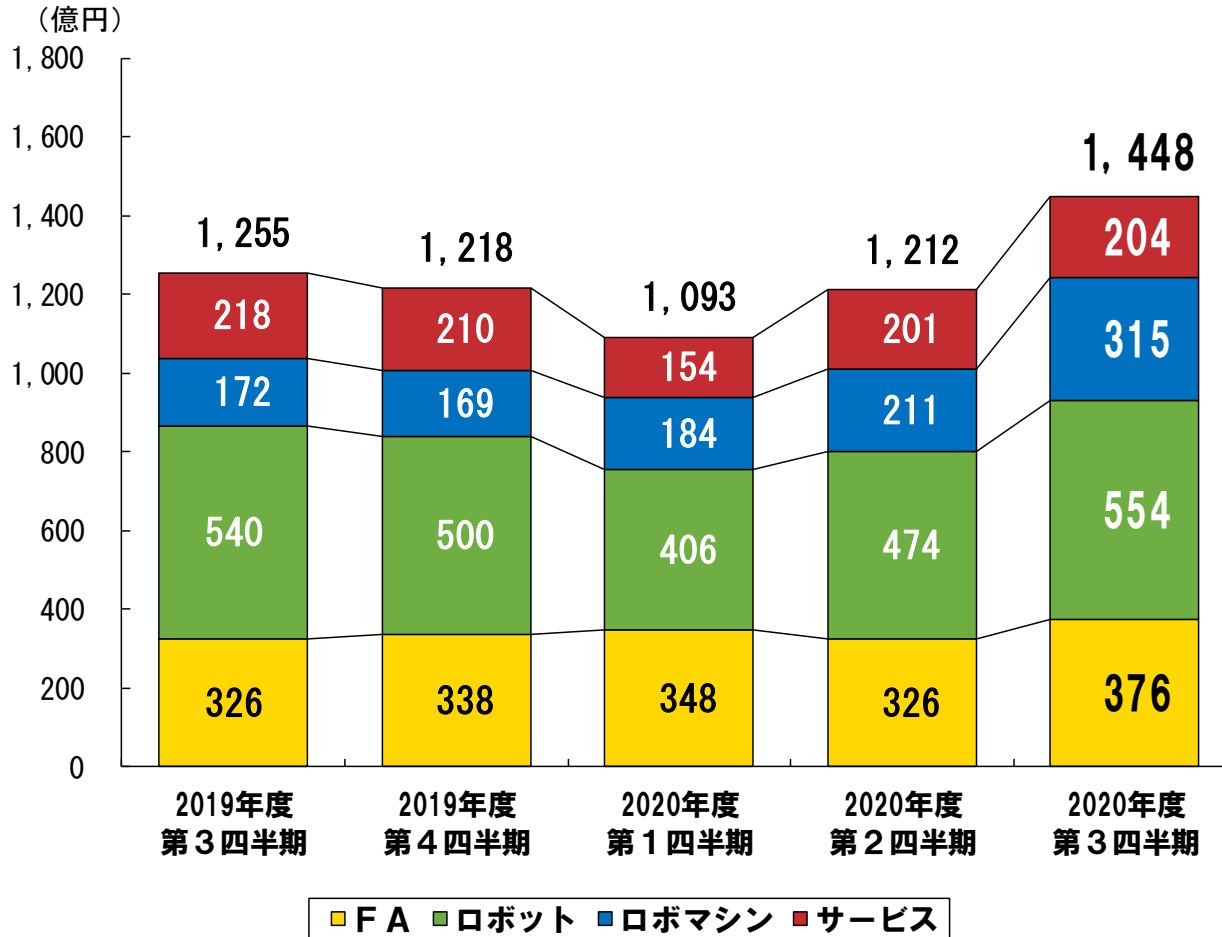
(単位：億円)	2019年度 第3四半期 (10～12月)	2020年度 第2四半期 (7～9月)	2020年度 第3四半期 (10～12月)	増減率 前年同期比	増減率 前四半期比
<b>売上高</b>	1,255	1,212	<b>1,448</b>	+15.4%	+19.5%
<b>売上原価</b> 【売上原価率】	825 65.8%	789 65.1%	<b>885</b> 61.1%	+7.3%	+12.2%
<b>営業利益</b> 【営業利益率】	196 15.6%	212 17.5%	<b>329</b> 22.7%	+68.2%	+55.1%
<b>経常利益</b> 【経常利益率】	226 18.0%	251 20.7%	<b>372</b> 25.7%	+64.4%	+48.2%
<b>純利益</b> 【純利益率】	163 13.0%	190 15.7%	<b>272</b> 18.8%	+66.7%	+43.2%
為替レート					
円/1USD	108.76	106.22	<b>104.51</b>	-3.9%	-1.6%
円/1EUR	120.32	124.11	<b>124.54</b>	+3.5%	+0.3%

# 連結売上高・損益 四半期推移



純利益＝親会社株主に帰属する純利益

# 連結 部門別売上高



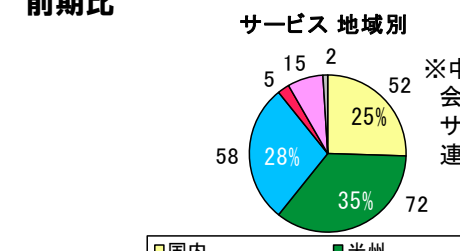
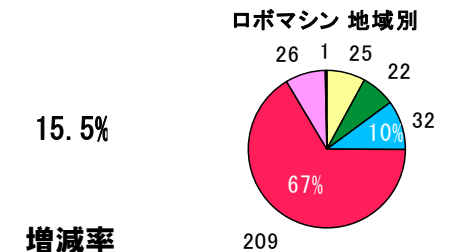
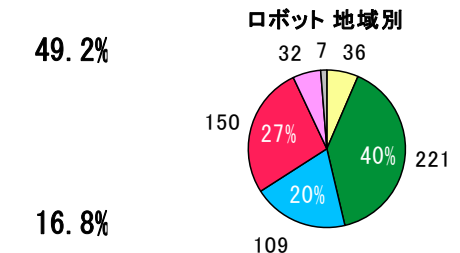
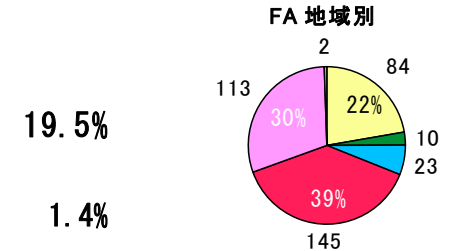
## 第3四半期（3ヵ月）の状況〔2020年度第2四半期との比較〕

FA →中国で好調に推移。国内、欧州、韓国、台湾、インドで増加。

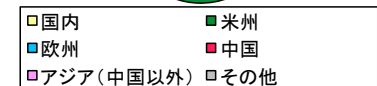
ロボット →中国で大幅に増加。米州、韓国、台湾で増加。

ロボマシン→中国で大幅に増加。国内、米州、欧州、韓国で増加。

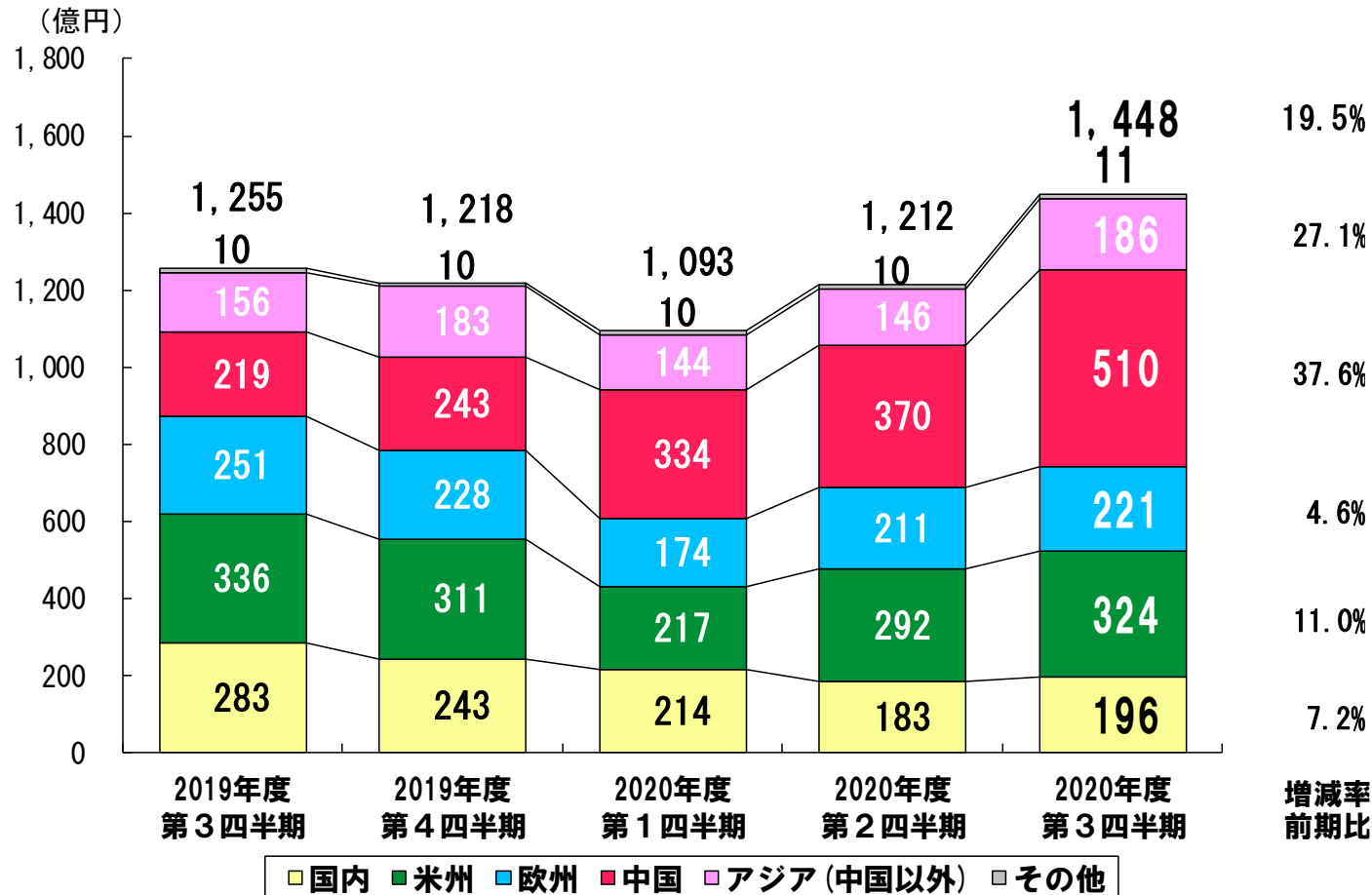
## 2020年度第3四半期



※中国で持分法適用会社が行っているサービスの売上高は連結売上に含まない



# 連結 地域別売上高



## 第3四半期（3ヵ月）の状況〔2020年度第2四半期との比較〕

国内 →FA、ロボマシンが増加。

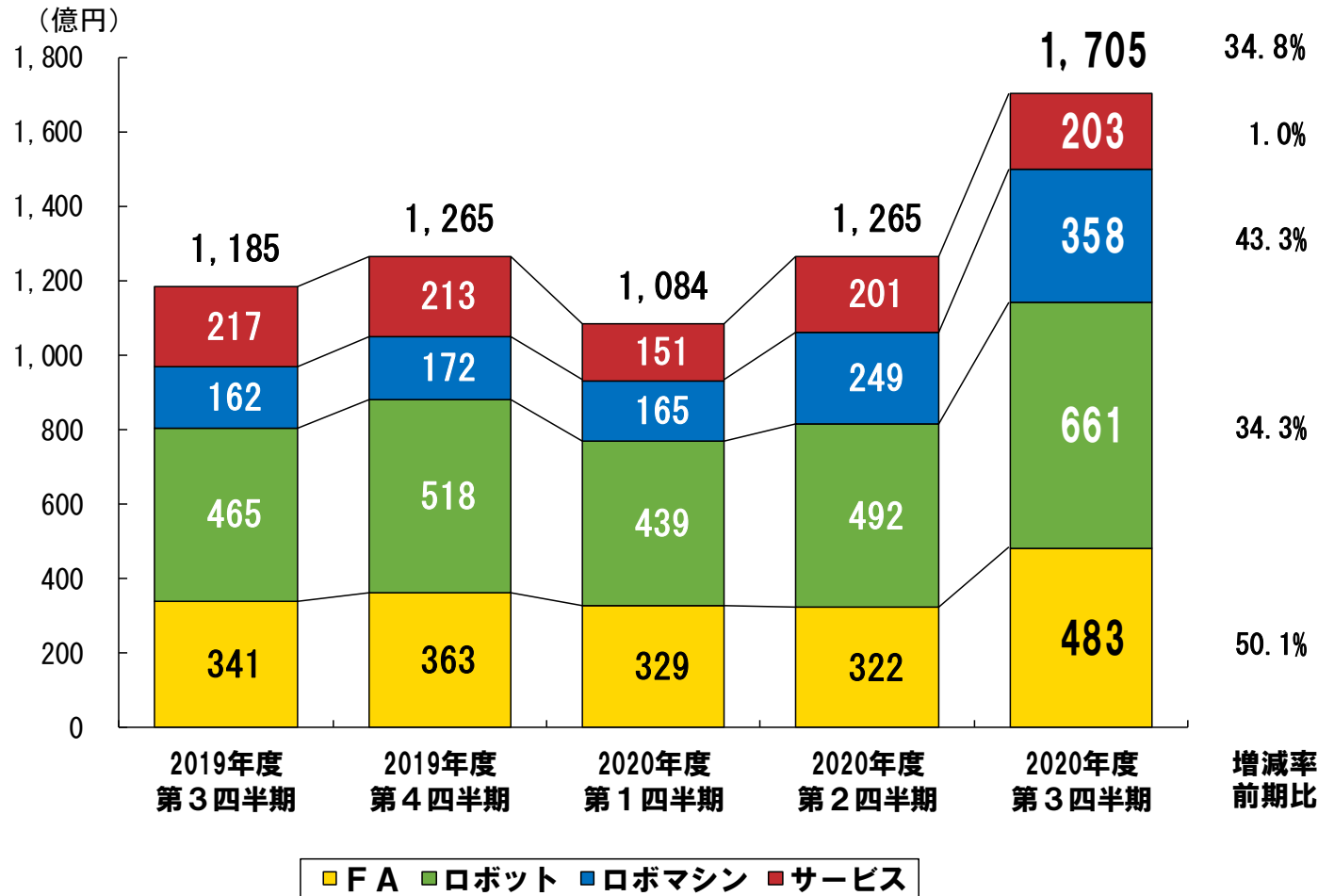
米州 →ロボット、ロボマシンが増加。

欧州 →FA、ロボマシンが増加。

中国 →FAが好調に推移。ロボット、ロボマシンが大幅に増加。

アジア (中国以外) →FAが韓国、台湾、インドで増加。ロボットが韓国、台湾で増加。ロボマシンが韓国で増加。

# 連結 部門別受注高



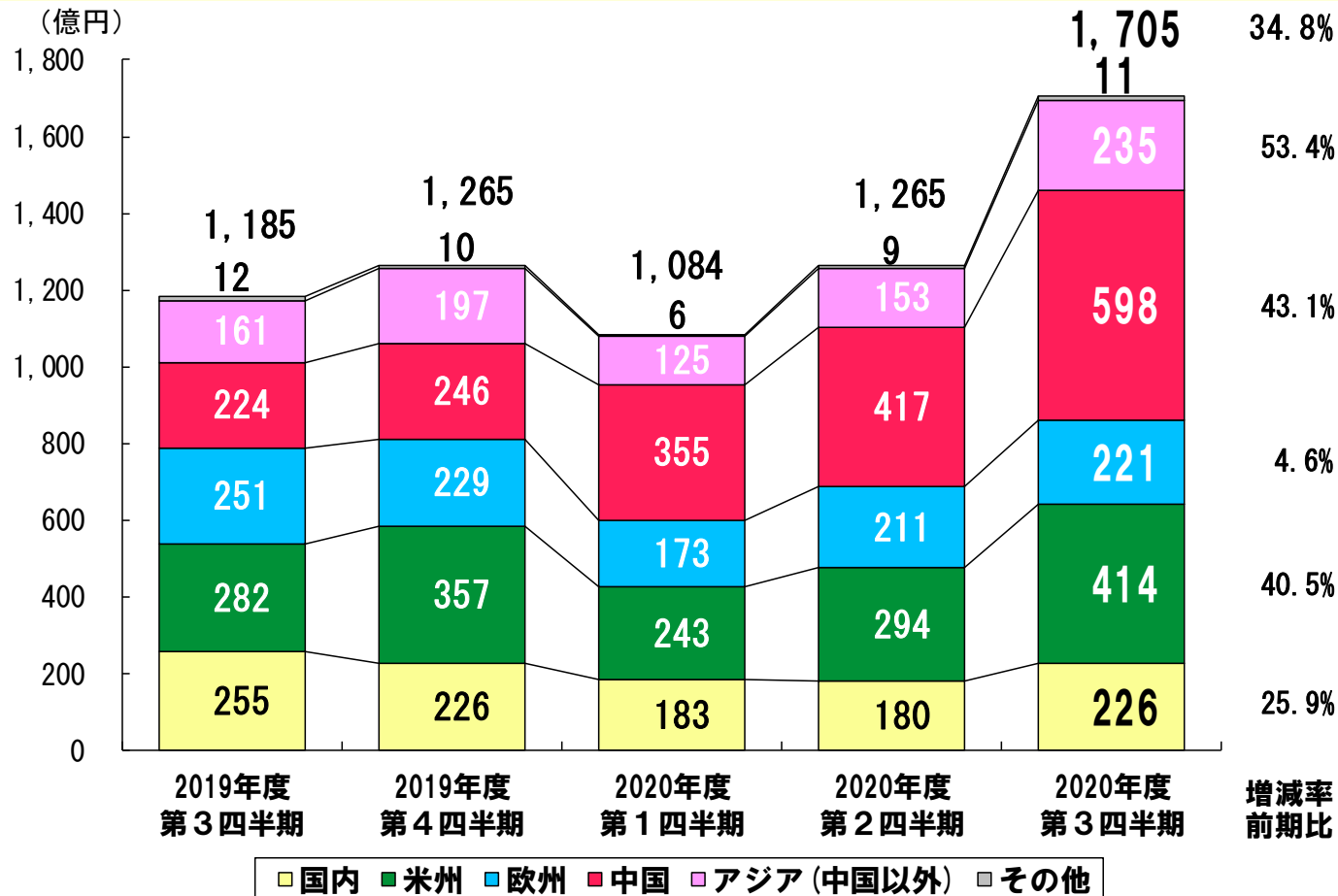
## 第3四半期（3ヵ月）の状況〔2020年度第2四半期との比較〕

FA →国内、中国、韓国、台湾、インドで大幅に増加。欧州で増加。

ロボット →米州で一般産業向け、自動車関係向けが大幅に増加。中国で一般産業向けなどが大幅に増加。国内、韓国、台湾で増加。

ロボマシン→中国でロボドリル、ロボショットが大幅に増加。国内、米州、欧州、台湾、インドで増加。

# 連結 地域別受注高



## 第3四半期（3ヵ月）の状況〔2020年度第2四半期との比較〕

- 国内 →FAが大幅に増加。ロボット、ロボマシンが増加。
- 米州 →ロボットが一般産業向け、自動車関係向けで大幅に増加。ロボマシンが増加。
- 欧州 →FA、ロボマシンが増加。
- 中国 →FA、ロボドリル、ロボショットが大幅に増加。ロボットが一般産業向けなどで大幅に増加。
- アジア (中国以外) →FAが韓国、台湾、インドで大幅に増加。ロボットが韓国、台湾で増加。ロボマシンが台湾、インドで増加。



(単位：億円)	2019年度 第3四半期累計 (4～12月)	2019年度 通期	2020年度 第3四半期累計 (4～12月)	前年 同期比
設備投資額	567	705	138	-429
減価償却費	338	459	331	-7
研究開発費	382	513	348	-34

# 連結 通期業績予想

(単位：億円)	2019年度	2020年度予想		増減率 前年比	増減率 前回予想比
		前回予想	今回予想		
<b>売上高</b>	5,083	5,025	<b>5,323</b>	+4.7%	+5.9%
<b>売上原価</b> 【売上原価率】	3,261 64.2%	3,303 65.7%	<b>3,378</b> 63.5%	+3.6%	+2.3%
<b>営業利益</b> 【営業利益率】	883 17.4%	854 17.0%	<b>1,058</b> 19.9%	+19.8%	+23.9%
<b>経常利益</b> 【経常利益率】	1,028 20.2%	963 19.2%	<b>1,195</b> 22.4%	+16.2%	+24.1%
<b>特別損益</b>	-20	-	-	-	-
<b>純利益</b> 【純利益率】	734 14.4%	718 14.3%	<b>882</b> 16.6%	+20.2%	+22.8%
為替レート					
円/1USD	108.74	103.46	<b>104.59</b>	-3.8%	+1.1%
円/1EUR	120.82	120.65	<b>121.78</b>	+0.8%	+0.9%

2020年度  
第4四半期  
為替レート想定  
円/1USD 100円  
円/1EUR 120円

## 全電動式射出成形機「ロボショット」の最新機種を発表



**ROBOSHOT α-S100iB**

### 高い成形性能

- さまざまな成形に対応できる高い射出性能

### 高い稼働率

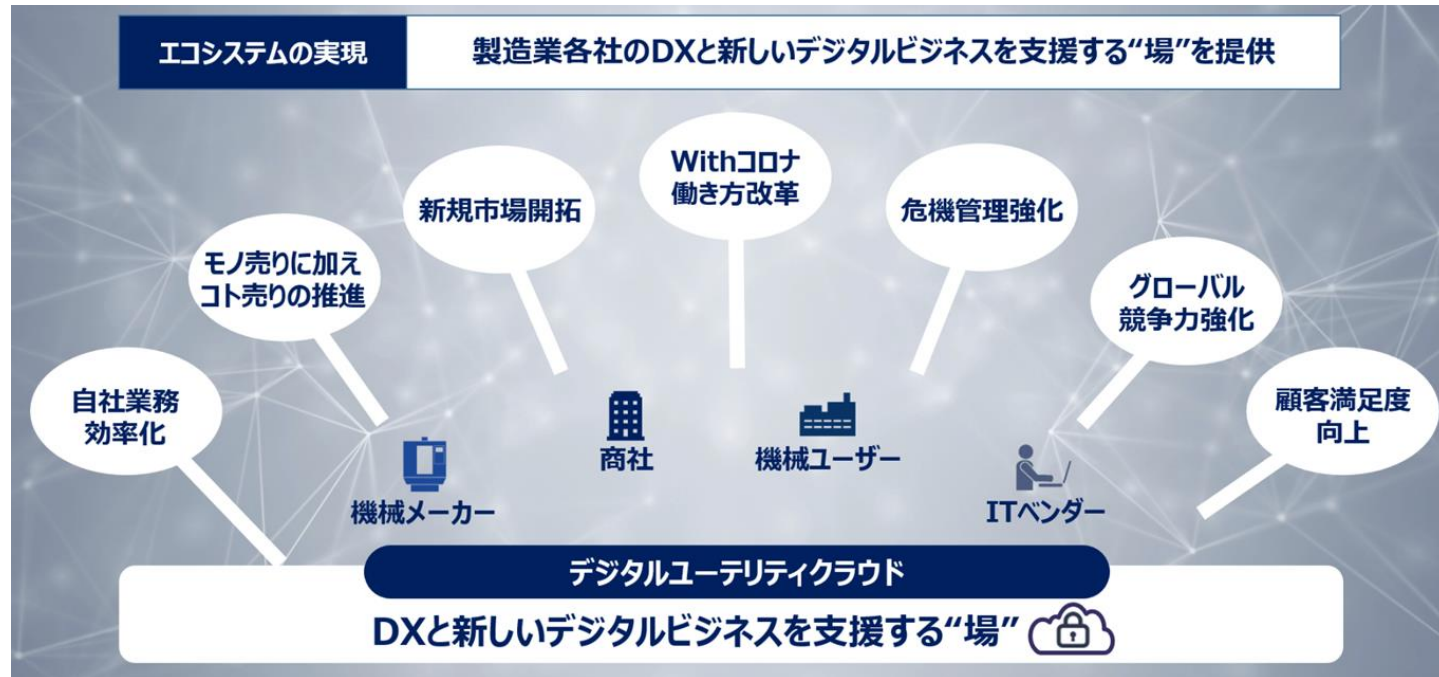
- ファナックロボットとの簡単接続、簡単操作を実現
- 最新の国際安全規格に準拠
- 最新通信規格採用によるIoT対応

### 使いやすさ

- 業界最大の21.5インチ大型モニター採用
- 操作性に優れた独自の2画面表示
- 簡単操作を実現するヘルプ機能

- 2020年11月 IPF Japan 2020 Virtual展で発表、高い関心と多くの引き合い
- 2021年1月 50トン、100トン、150トン機から順次出荷開始

富士通、ファナック、NTTコミュニケーションズ  
「株式会社DUCNET」 2021年4月よりサービス開始予定

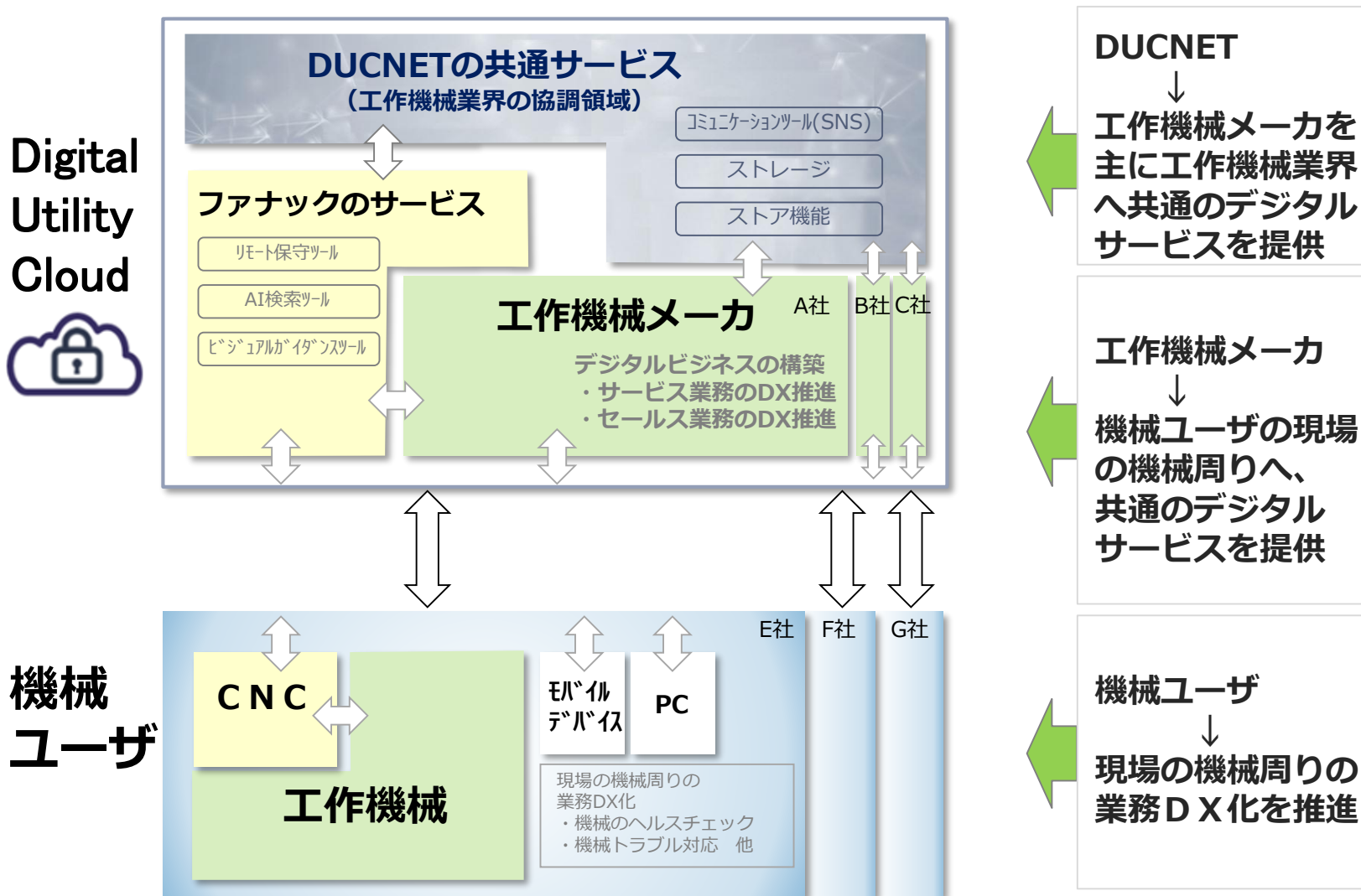


## 「FANUCの取り組み」

Digital Utility Cloud を工作機械業界の協調領域として活用

- DUCサービス（コミュニケーション、ストレージ、ECストア、開発基盤、AIなど）を自社のDXに利用し、工作機械業界向けにブラッシュアップします。
- 工作機械業界向けに提供するDXサービスをツールとして開発し、DUCのエコシステムを通して、販売する予定です（リモート保守ツールなど）。

# Digital Utility Cloudの役割について



# FIELD systemの役割とDigital Utility Cloudとの連携について

